

「語りもんそ」

Vol.39 平成27年 12月25日発行

この通信誌は、宝山ホールで活動されているボランティアスタッフによって発行されています。

平成27年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業
♪♪♪ 日曜の朝にカフェで音楽を ♪♪♪
カフェ ミニコンサート

出演 (公財) 鹿児島県文化振興財団
アーティストバンク登録アーティスト
宝山ホール2階 “カフェ マ・ナ～ナ”

毎月1回 日曜日の午前10時30分から11時15分まで開催されています。

(入場料は無料ですが、要ワンオーダー)

●11月29日(日)は、上之段祐佳さん(ピアノ)と家木祥吾さん(テノール)のお二人で、シューベルト作曲“アデライデ”、“野ばら”、“子守歌”、杉山長谷夫作曲“出船”、弘田龍太郎作曲“浜千鳥”、斎藤佳三作曲“ふるさと”、モーツァルト作曲“ドン・ジョバンニ”より彼女の安らぎこそ、“「コジ・ファン・トゥッテ」より恋人からの愛のそよ風は”、“「魔笛」より なんと美しい絵姿”の9曲とアンコールに“ふるさと”が演奏されました。



上之段祐佳さん(ピアノ) 家木祥吾さん(テノール)

○お客様に感想をお聞きしました

・宇野ももこさん 鹿児島市

「今回で2回目ですが、やはり間近で聴く演奏は心地よい爽やかなひとときになりました。

様々な表情をみせる上之段さんのピアノの音色とやさしく美しい深みのある家木さんの歌声が合わさってとても素敵でした」



出演者と宇野ももこさん(中央)

●12月20日(日)は、井上美涼さん(ピアノ)と山下華歩さん(ソプラノ)のお二人で、作曲者不詳“アメージンググレース”、中田喜直作曲“むこうむこう”、シューマン作曲“アベッグ変奏曲”、“献上”、プッチーニ作曲“ジャンニ・スキッキより「私のお父さん」”、R.シュトラウス作曲“万霊節 作品10-8”、クリスマスメドレーはグルーバー作曲“きよしこの夜”、バッハ作曲“主よ人の望みの喜びよ”、モーツァルト作曲“アヴェ・ヴェルム・コルプス”など9曲とアンコールに“花は咲く”が演奏されました。



山下華歩さん(ソプラノ) 井上美涼さん(ピアノ)

〇お客様に感想をお聞きしました

・池田由紀子さん 鹿児島市

「お二人の演奏がクリスマスに相応しい選曲でとても素敵な日曜日の午前を過ごさせていただきました。アンコールの“花は咲く”はとても感動しました」



池田由紀子さん 陽紀くん(5才)

宝山プレゼンツ

イ・ムジチ合奏団

10月11日(日) 宝山ホール

ヴィヴァルディの「四季」を名曲として世界中に知らしめた世界有数の合奏団の演奏は、おなじみの「四季」と共に、コレリとその弟子たちによるローマ楽派の音楽と先住民族の音楽に起源をもつ南米の音楽が演奏されました。

演奏曲目は

ロメロ作曲“弦楽のためのフーガ・コン・パハリージョ”(ベネズエラ)、ピアソラ作曲“ル・グラン・タンゴ”(アルゼンチン)、セルバンテス作曲“5つのキューバの舞曲”(キューバ)(キスマーク、高級な夜の女、笑い、もう泣かないで、3つの衝撃)、ピアソラ作曲“室内オーケストラのための3つの小品”(プレリュード、フーガ、ディヴェルティメント)(アルゼンチン)、ヴィヴァルディ作曲“ヴァイオリン協奏曲集「四季」op.8”とアンコールに“赤とんぼ”など4曲が演奏され、鹿児島島の音楽ファンを魅了しました。

〇お客様に感想をお聞きしました

・杉園友理さん(中学2年) 日置市

「弦楽合奏団の生演奏を初めて聴きました。繊細でコロコロと表情が変わるステキな音色に一瞬にして引き込まれ、様々な奏法があって弦楽器の経験のない私でもとても楽しめたし面白かった。

一音一音が伸び伸びとしていて音が生きていることを感じ、一音一音表情が違って聴いていてとてもワクワクしました。

悲しく、つらく、暗い音色の時はこっちまで悲しく涙が出そうになり、楽しく、うれしく、明るい音色の時はこっちまで嬉しく笑顔になりました。

コンサート中は鳥肌がたちっぱなしで感動！感動！感動でもっともっと生の音楽にふれたいと思いました」



杉園友理さん

平成 27 年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業

県庁ロビーコンサート

～お昼のひとときにさわやかな音楽を～

11月6日(金) 鹿児島県庁舎2階 県民ホール

演奏は(公財)鹿児島県文化振興財団アーティストバンク登録アーティストの竹村由加里さん、松村優実さん、羽子田夏貴さんの三人によるユーフォニアムアンサンブルで、ルイジ・デンツァ作曲“フニクリ・フニクラ”、山田耕筰作曲“赤とんぼ”、岡野貞一作曲“ふるさと”、Gershwin 作曲“3重奏のためのガーシュインメドレー(6曲)”、いずみたく作曲“見上げてごらん夜の星を”、荒井由実作曲“ひこうき雲”、秦基博作曲“ひまわりの約束”、菅野よう子作曲“花は咲く”、モーツァルト作曲“トルコ行進曲”が演奏され、その幅の広い柔らかな音色に会場を訪れた多くのお客様はお昼のひとときを心地よい音楽で過ごされました。



鹿児島県庁舎 2階 県民ホール



松村優実さん(左) 竹村由加里さん(中央) 羽子田夏貴さん(右)

○お客様に感想をお聞きしました

・坪山智子さん

鹿児島市

「初めてきました。広いロビーでゆったりと音楽の世界に入り込めました。1才の娘もユーフォニアムのあたたかい音色に足でリズムをとったり手拍子をしたりと楽しんでいました。未就学児が入れる音楽会は少ないのでとても嬉しい機会でした。親子で楽しめてしかもユーフォニアムの素敵な音色を聴けて大満足でした。選曲もなじみのある名曲が多く楽しめました。次回も家族で聴きに來たいです」



出演者と坪山智子さん・陽葵ちゃん(ひまり・1才)

宝山プレゼンツ

MALTA Jazz Big Band

11月20日(金) 宝山ホール

名サックス・プレイヤーMALTAと日本ジャズ界を代表する精鋭たちが集結したコンサートは、オープニング曲の“Shout Me Out”に続き、“Strike Up the Band”、“Groove Merchant”、“DAZXMANIA”、“The Quintessence”、“Cute”、“Some Skunk Funk”、“Moonlight Serenade”、“Pennsylvania 6-5000”、“Manhattan in Blue”、“地下室のメロディー”、“IRONSIDE”、“007”、“Mission Impossible”、“Jazz Up Back Up Dress Up”の14曲とアンコールに“さくら'81”“Take the ‘A’ Train”の2曲が演奏され、鹿児島島のジャズファンを魅了しました。

○お客様に感想をお聞きしました

・榊原はるかさん (中学2年) 鹿児島市
 「自分たちの演奏とは違った演奏の仕方、特に“Some Skunk Funk”はソロが入れ替わるなどとても吸い込まれるような音でした。ジャズの生演奏を初めて聴きましたが思った以上に迫力があり心を揺さぶられるような感覚でした。コンサートに誘ってくれた父にとっても感謝しています」

・留岡 凜さん (中学2年) 鹿児島市
 「生のジャズは聴いたことがなかったけど、どの楽器もとても音の伸びが良く、今まであまりジャズにふれたことがなくてもジャズの独特の良さを知ることができました。それにジャズ特有の曲の盛り上がりや落ち着いた雰囲気を感じることができました。良い音楽に触れる機会をもっと増やしたいと思いました」



榊原はるかさん (左) 留岡 凜さん (右)

演劇

「ブロッケン妖怪」

12月5日(土) 宝山ホール

ブロッケン現象が現れる島の洋館で不思議な出来事や島の人々の思惑に巻きこまれていく様を描いた笑いも怪奇が入り混じるホラーコメディ。

出演は、竹中直人・生瀬勝久・佐々木希・大貫勇輔・安藤聖・田口浩正・高橋恵子。

〇お客様に感想をお聞きしました

・西 春菜さん 奄美市
 「演劇の舞台は初めてです。生の演技を自分の目で見るのがとてもよかった。テレビでしか見ていない竹中直人さん、生瀬勝久さんの大ファンで、今日はご本人たちの生の演技を見ることができとても良かったです」

・今村菜月さん 奄美市
 「プロの方の生の演劇を初めて観ました。その迫力に感動してとても楽しかったです。奄美でも観たいのでぜひ奄美でも公演をお願いします」



西 春菜さん (左) 今村菜月さん (右)

・中村盟菜さん (高山高校3年) 鹿屋市
 「閉校記念・芸術鑑賞会の行事の一環として先生たちと私たちの学年で最後となる3年生みんなで来ました。」

遠くに霧が立ち込めてもう一つの幻影が見えてくるブロッケン現象を舞台正面奥に映像と照明で作られ、個性溢れる有名俳優さん達のぐいぐい来る笑いにとっても感動しました」



中村盟菜さん



高山高校の皆様

宝山ホール広報ボランティア 『語りもんそ』編集部
 〒892-0816 鹿児島市山下町5-3 宝山ホール
 電話 (099)223-4221 FAX (099)223-2503
 撮影・取材記事 広報ボランティア 四十住 孝行